

Philips Solution Symposium 2019

～MRIの有効活用とPhilipsの新たなソリューション～

Philips Solution Symposium 2019は、高額医療機器であるMRIの有効活用とフィリップスが提供する新たなソリューションをテーマとしたシンポジウムです。
第一部は、昨今、財務省や厚生労働省の審議会で議論されているMRIなどの高額医療機器の有効活用や、2019年4月から導入された医療機器の費用対効果評価、さらには高額医療機器の導入プロセスなどについて、医療機関経営のエキスパートが解説いたします。
第二部では、フィリップスが提案するヘルスケアソリューションからMRIをテーマとし、技術革新によりもたらされるMRI検査運用への貢献や医療機関経営への効果について、実臨床での活用事例をもとにご紹介いただきます。

日　時：2019年10月26日（土）
14:00～ 16:50 (受付開始 13:30)

会　場：ステーションコンファレンス東京5F
(501A+501B会議室)
〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー5F



Philips Solution Symposium 2019
～MRIの有効活用とPhilipsの新たなソリューション～

14:00 - 14:05　開会の挨拶

第一部　高額医療機器の有効活用

14:05 - 14:30　高額医療機器の配置をめぐる議論と今後 - 患者アクセスと医療費の視点から -
演者：田村 誠 氏 (一般社団法人 医療システムプランニング)

14:30 – 14:55　高額医療機器の費用対効果について
演者：小林 慎 氏 (クレコンメディカルアセスメント株式会社)

14:55 – 15:20　高額医療機器導入における経営サイドの導入プロセス
演者：山本 功二 氏 (聖隷横浜病院　事務局長)

コーヒーブレイク (15分間)

第二部　Philips MRIにおけるソリューションとは

15:35-15:55　Philipsからのソリューション提案
演者：奥秋 知幸 (株式会社フィリップス・ジャパン)

15:55-16:20　基幹病院が担うこれからのMR検査運用
- Compressed SENSEが病院経営および地域連携に与える効果 -
演者：田渕 隆 氏 (倉敷中央病院 医療技術部門 本部長)

16:20-16:45　病院経営の観点から考えるMRIの進歩 - Compressed SENSEという真打ち登場 -
演者：片平 和博 先生 (熊本中央病院 放射線診断部 部長)

16:45-16:50　閉会の挨拶

第一部 講師紹介

田村 誠（たむら まこと）
一般社団法人 医療システムプランニング 代表理事

博士（保健学）、修士（経営学）
2003-2005年　厚生労働省「政策評価に関する有識者会議委員」
2011-2017年　厚生労働省「中央社会保険医療協議会（中医協）専門委員」
（保険医療材料専門部会、費用対効果評価専門部会）
2005-2010年　AMDD<米国医療機器・IVD工業会>保険委員長（AMDDが設立される2009年までは、ACCJ医療機器小委員会保険担当副委員長）

山本 功二　（やまもと　こうじ）
聖隷横浜病院　事務局長

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 執行役員
関東地区運営協議会担当・聖隷横浜病院事務長

小林 慎（こばやし まこと）
クレコンメディカルアセスメント株式会社
取締役最高業務責任者

博士（医学）、修士（工学）
多摩大学医療・介護ソリューション研究所
シニアフェロー
日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント
研究所特任教授
国際医薬経済・アウトカム研究学会
日本部会理事および事務局長
DPCマネジメント研究会理事
東海病院管理学研究会世話人

製造販売業者
株式会社フィリップス・ジャパン

〒108-8507 東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル
お客様窓口　0120-556-494
03-3740-3213
受付時間 9:00～18:00
（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
www.philips.co.jp/healthcare

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「お客様窓口」までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V. またはその他の会社の商標または登録商標です。

© 2019 Philips Japan, Ltd.